

# 令和8年度 大阪高校春季サッカーフィニッシュ大会〈女子の部〉

期間 令和8年4月18日(土)～5月30日(土)

## 大 会 要 項

### 1 参加資格

- ①令和8年度（公財）日本サッカー協会、大阪高体連サッカーチームに加盟登録した高等学校チームおよび大阪高体連が特に認めた学校チームであること。
- ②選手は令和8年4月以降当該校に在学し、平成19年4月2日以降に生まれた者により編成された単独チームであること。ただし、選手の出場は、同一競技3回までとし、同一学年での出場は、1回限りとする。
- ③統合の対象となる学校については当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。また、部員不足による合同チームについては、大会参加基準を満たしていれば大会参加を認める。
- ④（ア）転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、大阪高体連会長の許可があればこの限りではない。（イ）高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6ヶ月間は出場できない。（ウ）転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記アに準ずるものとする。ただし、この規定ウの適用は当該年度内に限るものとする。
- ⑤4級以上の審判資格を有する生徒が最低2名以上いる学校チームであること。

### 2 競技規則

- ①（公財）日本サッカー協会制定の競技規則2025/2026による。規律委員会処分内容も含む。（ハンドブックを参照のこと）
- ②選手の交代は5名まで交代できる。試合開始前に交代要員最大9名の氏名を主審に通告しておき、競技が停止しているときに主審の許可を得てから交代する。交代した選手はその試合に再び出場することはできない。
- ③試合中においては、チーム要因及び交代要員は、会場で指定された場所にいること。
- ④ベンチに入ることができる者は、最大20名の選手・および最大10名までのチーム要員チーム補助員のみとする。
- ⑤準決勝以降試合中の交代回数を、各チーム最大3回とする。（1回に複数人を交代することは可能）ただしハーフタイムでの選手交代は交代回数に含まれない。
- ⑥延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる。（直前の70分間と合わせて最大6名かつ4回の交代が可能となる）延長戦開始前および延長戦のハーフタイムの交代は回数に含まれない。
- ⑦1試合において、各チームの最大1名の「脳振盪による交代」を使うことができる。（再出場なし）その場合は、「通常の交代」の人数及び回数の制限とは別に取り扱われる。相手チームが「脳振盪による交代」を使用した場合は、自チームは追加で1名を交代させることができる。（この場合の交代理由は脳振盪であるか否かを問わない）※別紙参照

### 3 出場停止

- ①本大会において退場を命じられた選手は、本大会の公式試合1試合を出場停止とする。以降の処置については、規律委員会にて審議し、常任委員会で決定する。
- ②本大会において2回の累積警告を受けた選手は、本大会の次の1試合を出場停止とする。さらに、2回の累積警告を受けた選手は、本大会における次の2試合を出場停止とする。なお、予選リーグでの警告（イエローカード）は、決勝トーナメントへは累計されない。
- ③次の場合、そのチームの出場を停止する。
  - （ア）教員又は部活動指導員がいないとき。（試合開始時間までに会場責任者に出席を知らせる。）
  - （イ）参加資格に違反したり、不都合な行為のあったとき。（常任委員会が決定する。）
- ④試合開始時刻までに、（公財）日本サッカー協会発行の選手証（写真貼付により、顔の認識が確認できるもの）を会場責任者に提出しない個人は、その試合に出場できない。※選手証とは、（公財）日本サッカー協会のWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものと示す。
- 新規登録者については、学校長の捺印のある新規登録者大会参加許可証（高体連ホームページ参照）で出場できる。
- 2026年度のJFA Web登録申請後にプリントアウトした「継続登録申請書」および「追加登録申請書」で出場できない。

### 4 競技方法

- ①試合時間は、70分（35分-5分-35分）とする。
- ②前大会（大阪高校新人サッカーフィニッシュ大会）ベスト4を除いたチームで予選リーグを実施し、決勝トーナメント（ベスト8）へ進出する4チームを決定する。3位決定戦を実施する。予選リーグでは延長戦は行わない。ただし、引き分けの場合はPK（ペナルティーシュートアウト）方式により、その結果を順位決定時の参考とする。（最終節において順位が決定している場合は行わない。）順位は次の順で決定する。
  - （ア）勝ち点〔勝(3)引分(1)負(0)〕（イ）全試合の得失点差（ウ）全試合の総得点数（エ）当該チームの対戦成績
  - （オ）PK（ペナルティーシュートアウト）方式による勝ち数の多い方を上位とする。（カ）抽選（全試合終了後、当該チームの代表者を集め、審判部長・競技部長・女子部長の立ち会いのもとに行う。）
- ③決勝トーナメントで勝敗が決しないときは、PK戦（ペナルティーシュートアウト）により次回への進出チームを決定する。（3位決定戦においては3位を決定する）ただし、決勝は20分（10分-10分）の延長戦を行う。延長戦でも決定しないときは、PK戦（ペナルティーシュートアウト）により優勝チームを決定する。
- ④試合の前日正午までに、競技部長・女子部長・会場責任者・相手チーム・審判の5者に連絡することなく、無断で試合を棄権したチームは、厳重なる警告を受けるとともに、今後の公式戦に出場停止の処分を受けることがある。棄権チームがでた場合は、当該試合を5-0とする。
- ⑤試合開始時刻までに、選手の数が7名未満のときは棄権とみなす。
- ⑥前大会（大阪高校新人サッカーフィニッシュ大会）ベスト4は決勝トーナメント1回戦シードとする。（合同チームは該当しない。）
- ⑦前大会（大阪高校新人サッカーフィニッシュ大会）ベスト8は予選リーグの各グループへ振り分け抽選をおこなう。（合同チームは該当しない。）
- ⑧合同チームが複数ある場合は、予選リーグの各グループへ振り分け抽選をおこなう。
- ⑨公営会場で実施される試合については、テクニカルエリアを設置する。
- ⑩1位が第79回近畿高等学校サッカーフィニッシュ大会（女子の部）に出場する資格を得る。

## 5 服 裝      \*選手の用具に関する運用緩和は行わない

- ①各チームはユニフォームを統一し、背番号はできるだけ年間を通じて固定すること。
- ②チームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- ③予備として異色のユニフォームを用意すること。（用意のない場合は棄権とみなす場合がある。ハンドブック「内規（申し合わせ事項）※大会運営について」を参照のこと。）
- ④ユニフォームの背番号は服地と明確に区別し得る色彩とする。（服地が綺麗などであって明確な識別が困難な時には、台地をつける。）

## 6 そ の 他

ハンドブックの諸注意をよく読んで間違いのないようにすること。

### ★会場責任者（運営委員）の先生へ

- ①事故・問題（退場も含む）があったときは、専門委員長 藤井寺工科高校・村井先生（携帯 090-9114-4117）か競技部長 西野田工科高校・寺岡先生（携帯 090-7137-7447）まで至急ご連絡ください。緊急時の対策についてはハンドブック「内規（申し合わせ事項）\*大会運営について」を参照してください。
- ②全試合終了後、直ちに試合結果を「試合結果報告書」に記載された送付先までFAXまたはデータで送り、同時に電話での確認も必ず行ってください。（データで送る場合は「試合結果報告書」の原本を後日、大会主催に必ず渡してください）また、施設賠償責任保険に関わる各チームの参加人数も同報告書に記入してください。なお、記録用紙・審判報告書は調査研究部長（摂津高校・松原先生）までお送りください。
- ③退場および退場に値する行為（警告2度による退場は除く）があった場合は、審判の先生に「重要事項報告書」も記入していただき、審判の先生で、専門委員長 村井先生（藤井寺工科高校 FAX 072-939-0098）と調査研究部長 松原先生（摂津高校 FAX 072-634-1472）まで、FAXで当該試合の翌日中に送付していただくように連絡をお願いします。（原稿は審判の先生の方で保管してください。）
- ④大会要項の競技規則③に従って、会場本部（ハーフウェイライン近く）の左右にベンチをご用意ください。ベンチの指定は対戦トーナメント表の上段がピッチに向かい左、下段が右と定められています。
- ⑤会場設営及び運営に当たり次の点についてお願ひします。  
(ア) ゴールポストの固定。  
(イ) メンバー用紙提出に当たり、先発メンバー・交代要員のすべての姓名・ポジション・背番号を明記のこと。  
(ウ) 選手交代時のチェック、担架の用意。
- ⑥退場及び警告累積2回の選手については、試合当日までに当該校の顧問宛に確認を取ってください。

### ★審判の先生へ

- ①審判の割り当て変更は、香ヶ丘リベルテ高等学校 梶谷哲央 先生までご連絡下さい。その際に電話連絡に加えてFAXでも必ず変更内容を送付して下さい。

香ヶ丘リベルテ高等学校 梶谷哲央 先生 TEL072-238-7881 FAX072-227-4191

- ②退場および退場に値する行為（警告2度による退場は除く）があった場合は、「重要事項報告書」も記入し、審判の先生で、専門委員長 村井先生（藤井寺工科高校 FAX 072-939-0098）と調査研究部長 松原先生（摂津高校 FAX 072-634-1472）まで、FAXで当該試合の翌日中に送付していただくようにお願いします。（原稿は審判の先生の方で保管してください。）
- ③試合開始70分前までに会場に到着（J-GREEN球会場は運営本部にてIDを受け取る）し、会場責任者と両チームでユニフォームチェックを行ってください。
- ④学校感染症（新型コロナウイルスなど）によりチームの活動ができない場合は、出場を辞退してもらう。

### ★会場でのマナーについて

- ①応援について、太鼓・ラッパなどの鳴り物の使用は会場規則と連絡を取ること。応援のマナーとして言葉遣いに注意をすること。
- ②最終ゲームの勝利チームは、試合終了後速やかに会場係の先生に申し出て、グラウンド整備・ごみ処理などを手伝うこと。また、公営のグラウンドを使用する場合は、試合を行うチームが会場の美化に努めること。（自チームの試合終了後に、自分たちが使用した更衣室などの清掃を行う。）
- ③各チームの出したごみは必ず持ち帰ること。
- ④応援の保護者・OB等の車による学校会場への来場は禁止します。また公営会場での駐車マナーにも注意すること。
- ⑤公共交通機関利用時の乗車マナーなどに注意すること。

### ★ユニフォームについて

- ①対戦校同士のユニフォームが同系色で、レフリーがジャッジするのが困難とみなした場合、試合で使用するユニフォームをトスで決定する。その際、トスで負けたチームは予備の異色のユニフォームを使用すること。  
持ち合わせていない場合は棄権とみなす場合がある。
- ②ユニフォームとしてビブスは使用不可。また、他チームとの貸し借りも不可。
- ③合同チームに関しても、異色のユニフォームを準備すること。ただし、合同チーム内の学校のユニフォームを使用することができる。（ユニフォームとは、シャツ・ショーツ・ソックスの3点セットとする）

### ★大会当日に事故・傷害等が発生した場合について

- ①大会当日に事故・傷害等が発生した場合は、各学校で加入している日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度等をご活用ください。
- ②試合中などに器物破損等が発生した場合は、専門委員長 藤井寺工科高校・村井先生（携帯 090-9114-4117）までご連絡ください。

### ★その他

試合結果に関してはインターネットの以下のホームページを参照して下さい。

大阪高体連サッカーハンブック（アドレス <http://osaka-fa.or.jp/2shu/>）